

J E N E S Y S 2 . 0

韓国青年訪日研修団

訪問日程 平成 26 年 1 月 15 日 (水) ~ 1 月 24 日 (金)

1. プログラム概要

JENESYS2.0 の一環として、在大韓民国日本国大使館、在釜山日本国総領事館及び在済州日本国総領事館で選抜、派遣された韓国青年訪日研修団、計 88 名が、去る 1 月 15 日から 1 月 24 日までの 9 泊 10 日の日程で研修を行いました（第 1 団団長：金允海（キム・ユンヘ）韓国海洋大学校造船機資材工学部教授、第 2 団団長：南基正（ナム・ギジョン）ソウル大学校日本研究所副教授、第 3 団団長：南二淑（ナム・イスク）群山大学校日語日文学科教授）。

一行は、「日本を感じる」という研修テーマの下、滞在中、東京都内、地方（第 1 団：大分県、第 2・3 団：和歌山県）及び大阪府、京都府で大学訪問や企業訪問を行ったほか、ホームステイや文化体験を通して日本の魅力を体感しました。

2. 日程

1/15(水)

到着(成田国際空港)

1/16(木)

研修に関するオリエンテーション、講義

歓迎昼食会

秋葉原見学(第 1 団)、東京スカイツリー見学(第 2, 3 団)

外務省訪問

1/17(金)

大学訪問(神田外語大学(第 1 団)、国士舘大学(第 2 団)、亜細亜大学(第 3 団))

1/18(土)

大分県へ移動、豊後大野市の魅力に関する講義、ホームステイ対面式(第 1 団)

和歌山県へ移動、和歌山県庁訪問「和歌山県の魅力に関する講義」、ホームステイ対面式(第 2, 3 団)

1/19(日)

終日ホームステイ(第 2, 3 団: 藍染体験含む)

1/20(月)

企業訪問(株式会社久家本店(第 1 団)、株式会社島精機製作所(第 2 団)、中野 BC 株式会社(第 3 団))

大阪へ移動

1/21(火)

大阪企業家ミュージアム訪問、お好み焼き作り体験、和太鼓体験、大阪城見学(第 1, 2 団)

大学訪問(大阪教育大学)(第 3 団)

1/22(水)

大学訪問(第 1 団: 大阪大学、第 2 団: 関西大学)

和太鼓体験、お好み焼き作り体験、大阪城見学、大阪企業家ミュージアム訪問(第 3 団)

1/23(木)

京都へ移動、文化体験(茶道体験、着物体験)、京都の大学生との交流(金閣寺、龍安寺見学)

感想報告会

1/24(金)

帰国(関西国際空港)

3. 写真



(日本語) 1月16日 秋葉原視察(千代田区)



(日本語) 1月16日 秋葉原視察(千代田区)

(母国語) 1월 16일 아카하바라 시찰(도쿄 지요다구)

(母国語) 1월 16일 아카하바라 시찰(도쿄 지요다구)



(日本語) 1月17日 大学訪問(神田外語大学) 1団



(日本語) 1月17日 大学訪問(神田外語大学) 1団

(母国語) 1월 17일 대학방문(간다가이고 대학) 1단

(母国語) 1월 17일 대학방문(간다가이고 대학) 1단



(日本語) 1月17日 大学訪問(国士館大学 21世紀アジア学部) 2団(東京都町田市)



(日本語) 1月17日 大学訪問(国士館大学 21世紀アジア学部) 2団(東京都町田市)

(母国語) 1월 17일 대학방문(코쿠시칸 대학 21세기아시아학부)(도쿄도 마치다시)

(母国語) 1월 17일 대학방문(코쿠시칸 대학 21세기아시아학부)(도쿄도 마치다시)

	
(日本語) 1月17日 大学訪問(亜細亜大学)3団	(日本語) 1月17日 大学訪問(亜細亜大学)3団
(母国語) 1월 17일 대학방문(아사아대학)3단	(母国語) 1월 17일 대학방문(아사아대학)3단
	
(日本語) 1月18日 ホームステイ対面式(大分県豊後大野市)1団	(日本語) 1月18日 ホームステイ対面式(大分県豊後大野市)1団
(母国語) 1월 18일 홈스테이 대면식(오이타현 분고오노시)1단	(母国語) 1월 18일 홈스테이 대면식(오이타현 분고오노시)1단
	
(日本語) 1月18日 ホームステイ対面式(和歌山県西牟婁郡白浜町)3団	(日本語) 1月19日 文化体験(藍染安居工房)(和歌山県西牟婁郡白浜町)
(母国語) 1월 18일 홈스테이 대면식(와카야마현 시라하마초)3단	(母国語) 1월 19일 문화체험(아이조메 아고우공방)(와카야마현 시라하마초)

	
(日本語) 1月19日 文化体験 (藍染安居工房)(和歌山県西牟婁郡白浜町)	(日本語) 1月20日 ホームステイ退村式 (和歌山県西牟婁郡白浜町泊) 2団
(母国語) 1월 19일 문화체험(아이조메 아고우공방)(와카야마현 시라하마초)	(母国語) 1월 20일 홈스테이 송별회 (와카야마현 니시무로군 시라하마초) 2단
	
(日本語) 1月20日 ホームステイ退村式 (和歌山県西牟婁郡白浜町泊) 2団	(日本語) 1月20日 企業訪問(株式会社 久家本店)(大分県臼杵市)
(母国語) 1월 20일 홈스테이 송별회 (와카야마현 니시무로군 시라하마초) 2단	(母国語) 1월 20일 기업방문(주식회사 구게본점)(오이타현 우수키시)
	
(日本語) 1月20日 企業訪問(株式会社 久家本店)(大分県臼杵市)	(日本語) 1月21日 大阪企業家ミュージアム訪問(大阪府大阪市)
(母国語) 1월 20일 기업방문(주식회사 구게본점)(오이타현 우수키시)	(母国語) 1월 21일 오사카 기업가 뮤지엄 방문(오사카시)

	
(日本語) 1 月 21 日 文化体験 (和太鼓体験) (大阪府大阪市)	(日本語) 1 月 21 日 文化体験 (和太鼓体験) (大阪府大阪市)
(母国語) 1 월 21 일 문화체험(북 체험) (오사카시)	(母国語) 1 월 21 일 문화체험(북 체험) (오사카시)
	
(日本語) 1 月 21 日 文化体験 (和太鼓体験) (大阪府大阪市)	(日本語) 1 月 21 日 大学訪問 (大阪教育大学) 3 団
(母国語) 1 월 21 일 문화체험(북 체험) (오사카시)	(母国語) 1 월 21 일 대학방문(오사카교육대학)3 단
	
(日本語) 1 月 22 日 大学訪問 (大阪大学箕面キャンパス) 1 団	(日本語) 1 月 22 日 大学訪問 (大阪大学箕面キャンパス) 1 団
(母国語) 1 월 22 일 대학방문(오사카대학미노 캠퍼스)1 단	(母国語) 1 월 22 일 대학방문(오사카대학미노 캠퍼스)1 단

	
(日本語) 1月22日 大学訪問(大阪大学 箕面キャンパス) 1団	(日本語) 1月22日 大学訪問 (関西大学)(大阪府吹田市) 2団
(母国語) 1월 22일 대학방문(오사카대학 미노 캠퍼스) 1 단	(母国語) 1월 22일 대학방문 (칸사이대학)(오사카부 수이타시) 2 단
	
(日本語) 1月22日 大学訪問 (関西大学)(大阪府吹田市) 2団	(日本語) 1月23日 文化体験 (茶道)(京都府京都市)
(母国語) 1월 22일 대학방문 (칸사이대학)(오사카부 수이타시) 2 단	(母国語) 1월 23일 문화체험 (다도)(교토부 교토시)
	
(日本語) 1月23日 文化体験(着物)(京都市)	(日本語) 1月23日 学生交流(京都市)
(母国語) 1월 23일 문화체험(키모노 입기)(교토시)	(母国語) 1월 23일 학생교류(교토시)

4. 参加者の感想

◆印象的だったこと

○ホームステイに関して

- ・コタツや湯たんぽ、温泉などの体験、方言に触れた事はとても新鮮で貴重な経験になった。
- ・2泊3日という短い期間中、少しでも日本について沢山知ってもらおうとする姿が印象的で、1時間にかかる場所へわざわざ車を出して観光案内してくれて、とても嬉しかった。
- ・色々なことを沢山質問したにも関わらず、嫌な顔も見せずに笑顔で対応してくれて嬉しかった。
- ・本当の家族のように仲良くなって、お互いが涙を流して別れを惜しんでいた事が、とても感動的だった。
- ・一番印象的で記憶に残った体験はホームステイだった。
- ・今まで触れることのできなかった日本の田舎の風景と、ひっそりとした日本人の生活体験ができて良い機会だった。
- ・ホストファミリーの方が本当に良くしてくださったので、もう一度訪れたい。
- ・食事のおかずは個人に別々に用意されたことに驚いた。
- ・日本の都市だけでなく、田舎での生活体験と素敵な自然も見ることができて良かった。
- ・日本語を沢山使うしかない状況だったので、とても勉強になった。

○学校訪問に関して

- ・お互いの国の言葉を教え合い、交流できたことが本当に良かった。
- ・大阪大学の学長が「百聞は一見に如かず」と強調していましたが、この研修にぴったりな表現だと思いました。
- ・日本の大学生との交流で、今後、韓日両国の未来を担う青年らが集い、文化・歴史・論点となっている問題について討論しながら、意見をより受け入れられる自分になっていった。
- ・討論した主題から韓国と日本の違いを共有し、尊敬できた。
- ・知り合えた日本の学生達とは、一生の友達でいたいと思えた。
- ・キャンパスが本当に広く、韓国の大学内にはあまり例がないテニス場、柔道場、剣道場などの施設が整っていてとても羨ましかった。
- ・知り合えた学生達との「一期一会」を大切に、今後も連絡を取り合っていきたい。
- ・現地の大学生達に会って、テレビなどで知っていたこと以外に日本についての新しい情報を知り得た。

○伝統、文化、自然に関して

- ・自由な旅行では体験できないような文化体験ができて、本当に良かった。
- ・お好み焼きを作ったり、和太鼓や茶道、着物体験をしたり出来て楽しかった。
- ・茶道のようにささやかで奥深いことが日本文化の特徴なのではないかと感じた。
- ・道にゴミ一つなくきれいな道、バス待ちの人たちが1列にきちんと並んでいる姿は、私にとって、とても新鮮で衝撃だった。
- ・藍染め体験はやりがいがあって楽しかった。
- ・大阪は東京とは違って活発な雰囲気、方言を初めて聞いたが釜山の方言のように可愛らしく微笑ましかった。
- ・街がきれいで国民性が表れていて感動した。
- ・思っていたより物価が安かった。
- ・日本の伝統的な建物や歴史的文化を直接体験できたのが一番良かった。
- ・韓国よりも伝統文化がきちんと残っていて、現代文化に溶け込んで色々なところで日本の伝統文化を感じられたのが印象的だった。
- ・畳の部屋があんなに寒いということを初めて知った。

- ・色んな観光地を回って色んな説明を受けながら、日本の過去についても知ることができ、興味が湧いた。

○人間性について

- ・ホストファミリーの方から親切だけでなく、愛情と韓国に対しての興味にとっても感動し、韓国人とは違う、日本人の「情」を学ぶ取ることができた。
- ・日本人は「個人主義」で「冷たい」という印象だと本では学んできたが、実際会ってみると韓国とそれほど変わらなく、共通点が多かった。
- ・よく日本人は「建前と本音が違う」と言われているが、私達への配慮や気遣いからは、うわべだけのようには感じなかった。
- ・日本人の気遣いや配慮から、昔から民族的、国家的な感情がよくなかったということを忘れてしまう程、彼らは友好的だった。
- ・先進国がただの先進国なのではなく、国民の水準高い意識があるからだと分かった。
- ・どんなに小さいお店でも、お客には常に笑顔で親切に対応する。
- ・日本人のサービス精神に改めて驚き、相手に対する配慮が素晴らしかった。
- ・韓日問題は大人達のせいで悪く報道されているだけで、日本の学生達は韓国が嫌いではなく上手く付き合っていきたいということが分かり、私と同じ考えで嬉しかった。
- ・日本人について今まで学んだり聞いたりしてきたことと全然違った（日本人は感情を表に出さないというのを一般的に聞くが、別れの際は名残惜しくて泣いてくれたり、出迎えてくれたりした）。

○その他

- ・9泊10日間の日程がとっても短いと思える程、多くのことに触れ、学べる研修だった。
- ・充実した良い日程で、研修に参加している間、感謝の思いでいっぱいだった。
- ・日本の社会・経済・文化・歴史の全てを体験できる機会だった。
- ・今回の訪日研修は、ありのままの日本に触れられる機会であり、良い思い出となった。
- ・外交官になるのが夢の自分にとって、この研修に参加できた機会は本当に貴重だった。
- ・対話を通じてお互いに誤解していた部分を解いていき、有意義な時間を過ごせた。
- ・韓国と似ているようでも違う日本についてまだ知らない部分もあるが、この研修を通じてより親近感を感じた。
- ・日本へ留学するという夢を持っているので、この研修はもっと日本語が上手になりたいという思いと、もっと頑張らなければという原動力になった。
- ・本で学んだ知識ではない、胸に響いた感動と学びを得ることが出来た。
- ・今回の研修で一番良かった点は、沢山の日本人との出会いで、彼らを理解し友達になる機会を得たこと。
- ・反日や反韓パフォーマンスに振り回されず、民間人同士の交流がより活発になってお互いを理解出来たら、今よりはずっと良い日韓関係を築けるのではないかな。
- ・様々なメディアを通して、外から漠然と理解していた日本と日本人についての認識がこの研修を経験して変わり、人生において忘れられない一生の思い出となった。
- ・素敵な食器に彩りも良く盛られた、バランスが摂れている食事は本当に美味しかった。

◆自国の人に伝えたいこと

- ・日中韓の政治情勢は良くないが、実際対面してみると、文化は違えど互いに興味を抱き、一緒に行動し何よりも笑い合っって幸せな時間を共有できた。

- ・日本は世界の中でも、特に客を優遇し優先視する国家だが、韓国でもその国民性を見習い取り入れるべきだと感じた。
- ・民族、国家を超えて、同じ人間対人間で純粋な気持ちで仲良くなれる可能性を確認できた訪問だった。
- ・公共な場所で規則正しく行動する姿、喫煙場所があまりないにも関わらず、きちんとマナーを守っていること、道を尋ねられた時、親切に答え一緒に探す姿などの国民性は本当に素晴らしかったことを自国のみんなに伝えたい。
- ・SNS などを利用して、この日本での体験について語っていききたい。
- ・周りの学生達にも是非この素晴らしい研修プログラムを知ってほしいし、経験してほしい。
- ・日本人が形式的に対応して、うわべだけ親切で、冷たいという先入観を持つ必要はないという点。
- ・日本と日本人の魅力を周りの人たちに伝えて、今後の日韓両国の友好精神の為に架け橋となれるよう頑張っていく。